

令和 8 年度 栄町小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：23024

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

実 態	「学ぶ力」	
	成 果	課 題
	◇ICT活用、UDLを取り入れた授業展開など、個に応じた幅広い学びの充実 ◇ブロック研修による授業実践公開・討議を通じた課題探究的な学習の推進	◇家庭学習を含めた 自主的・主体的に学ぼうとする意欲 ◇教職員における「育てる」取組から「育つ」取組への意識の改革 ◇読書習慣の定着
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇他者からの承認、他者への承認については、どの児童にも根付いていて、多様性を認め合う土台は築かれている。 ◇自己承認に関してはまだ不十分な側面があり、特に自己肯定感については自信がないことやできないという気持ちがあり、高めていく必要がある。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力		
主体的に学ぶための知識及び技能と、学び合い、学び深めるための思考力・判断力・表現力		
取 組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	(1) 学習環境を整える。学ぶための土台（ルール、場の構成、時間の構造化など）を全校で築いていく。 (2) 児童が学ぶ見通しと明らかにしたいという情意をもてるようにするために単元の導入を工夫する。 (3) 授業のUDL化を図ることで、自ら学ぶ方法と人と学び合う方法を調整しながら身に付けられるようにする。 (4) 考えを伝え合う場を意図的に設けることで、情報の共有に加え、思考の再構築を促す。	① スマイル活動（異学年交流）を中心に、異学年での合意形成や自分たちでの問題解決の場を創出する。また、高学年や低学年の区別なく、発達の段階に応じて自分たちの行動に責任をもつことの大切さを実感できるよう関わる。 ② 委員会活動やクラブ活動で、子どもの「～したい」「学校をよりよくしたい」という思いを大切にする。自分たちで活動を考え、実行して、振り返ることで、集団づくりの難しさや大切さ、学校づくりへ参画することの喜びを味わえるようにする。
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	◇ICTの活用によって、児童が課題を視覚的に捉えながら、学び合いに繋げる。 ◇Canvaを推進し、授業だけでなく、委員会やクラブ活動等で児童が協力しながら表現活動に取り組めるように促す。	

<本プログラムの実行に向けて>

新年度	【一人一人の教職員】	【学校全体】	次年度へ
◇昨年度末に作成した、各部のカリキュラムを基に、研究全体会や研修会を通して、定期的に情報を共有し、徹底を図る。	◇児童の実態を基に育成したい児童像を考え、それを実現するための手だてを講じていく。 ◇個人設定課題を設定して、日々の授業改善を図る。 ◇朝読書の時間に本の紹介を実施する。	◇お互いに授業を見合ったり、情報を共有したりすることで、子どもの実情を把握し、日々の取組の創出と改善を図る。	◇中間評価・年度末評価、学校関係者評価を基に客観的な評価を行い、今年度中に次年度の計画を立てる。